

2024 年度 岐阜協立大学

学内ゼミナール大会 参加論文

ゼミ名 佐藤ゼミ A

テーマ ネット銀行の登場による地方銀行の在り方

代表者 加藤優 服部晃 安藤柚木 田中朱音

目次

1. はじめに
2. 地方銀行について
3. ネット銀行について
4. 両者を合わせた住宅ローンの比較
5. まとめ
6. 参考文献

1. はじめに

近年の地方銀行では本来の役割とされている中小企業への貸出に加え個人向けの貸出へと力を入れるように変化してきている。そのような状況下の中 2000 年に個人向けの貸出を主な利益とするネット銀行が登場する。個人向け貸出の中で物価状況などにより住宅資金の残高が増加傾向にある住宅ローンに重点を置く。今回は住宅ローンにおける両者の収入源の対立による地方銀行の衰退化を解決すべく、地方銀行がどのような戦略をとっていくべきなのかを考察。

2. 地方銀行について

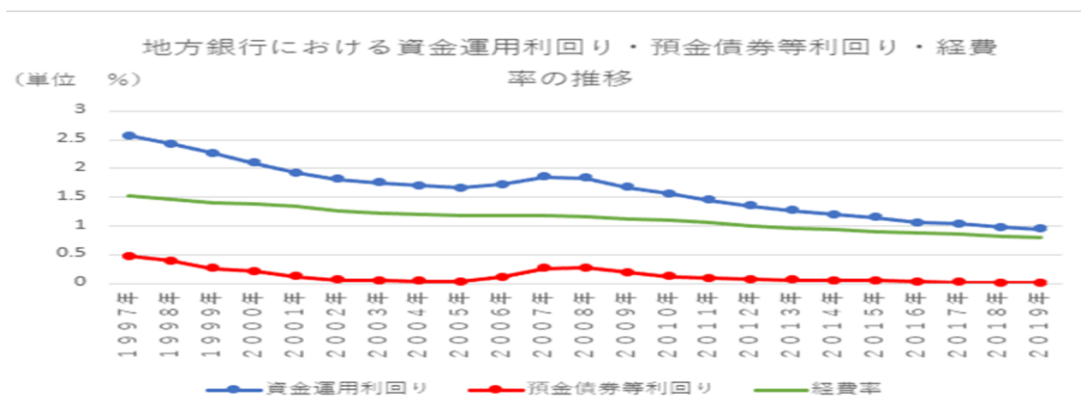
地方銀行とは地域を営業基盤とする銀行のうち全国地方銀行協会に加盟する銀行である。岐阜県内では十六銀行、大垣共立銀行がこれに該当する。創設された目的として中小企業の貸出があげられる。主に地元エリアを中心に展開し地元の人から集めた預金を地元の企業への融資と回すので地域密着型と言われている。

地方銀行の成立背景には 1938 年に行われていた戦時統合により地方に散らばった小規模の銀行が統合されてきた銀行である。また戦時に使用される兵器を生産する工場へ融資するには多額の資金が必要でありそのため一つの都道府県に対し一つの地方銀行と制限し中小銀行を統一し一つにまとめるといった政策も実施された。

地方銀行の業務内容は基本的に預金業務、為替業務、貸付業務などほかの銀行と大差はない。また企業の生産性向上のため企業ごとの課題解決のフォローを実施している。そして地方銀行が元々力を入れていたのは企業への貸出であったが。近年では個人向けの貸出に力を入れている。個人向けサービスの例として住宅ローンがある。地方銀行では地元の不動産市場に合わせた住宅ローンを提供し、金利や返済期間返済方法などが選べるプランを用意している。

次に地方銀行の顧客層では、地域において少子高齢化問題から地域の利用世帯は減っているものの利用している高齢者世帯が現在も多い。一方若者の世帯では人手不足を背景に共働きのような働き方の変化によって世帯の所得を上げている。地方銀行は将来性を考え新居建設や資産形成の面から若者世帯の顧客増加を望んでいる。

地方銀行における経営面では以前は貸出金利から経費を引いてもそれなりの利益があったが近年では貸出金利で得た利益をほとんど経費で使ってしまう。そのため新規参入したネット銀行では実店舗を持たない関係上系を削減でき利益を上げることが可能となっている。



3. ネット銀行について

ネット銀行とは簡単に言えば実店舗を持たない銀行であり 2000 年に初めて三井住友銀行傘下であるジャパネット銀行が設立される（現在の **paypay** 銀行）。また振込口座管理などが 24 時間いつでも可能であり口座開設ローンの申し込みなどがオンライン上で完結するようになっている。そして手数料が安くほかの銀行に比べ預金した時の金利が高い傾向にあり円以外の外貨を預け入れることが可能となっている。

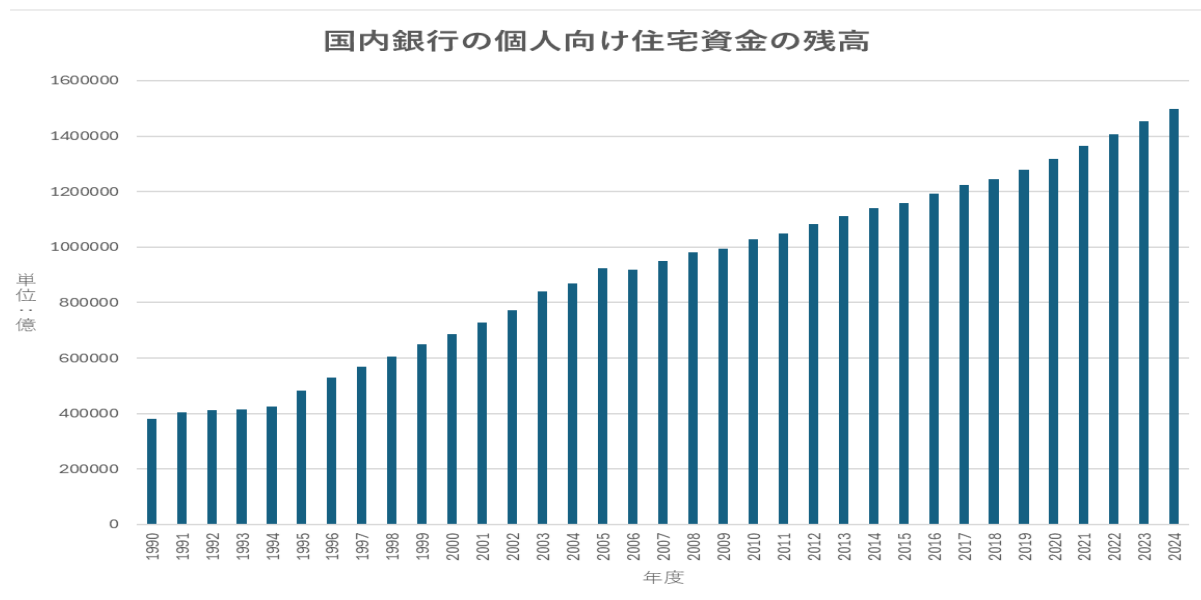
ネット銀行の成立背景には金融の自由化が大きく関係している。かつての日本では護送船団方式と呼ばれた行政が特定の業界を保護し競争を制限することにより安定して秩序を保つ方法が取られていた。しかし 1990 年代先進国で金融の自由化やグローバル化が進む中日本は護送船団方式により制限されていた。これを鑑みて日本は金融の自由化をし、市場の判断によって金融商品を自由に提供することができ、また国際的な市場層へと参加できるようになった。金融の自由化の後、異種業からの普通銀行の新規設立の希望が表明されたことから 2000 年 8 月に異種業による銀行業への参入に関するガイドラインが設立され最初のネット銀行であるジャパネット銀行が設立された。

ネット銀行の業務内容として基本的に預金業務、貸付業務、為替業務などがあるがセブン銀行を除くその他の銀行では貸出や有価証券による資金利益の割合が多いため、貸付業務に力を入れていると汲み取ることができる。

ネット銀行の顧客層では **My Voice** のアンケート調査によると利用者数が多いのは会社員などの中年男性層であり勤務時間終了後でもパソコンやスマホなどから利用できる点と、手数料が安いため利用率が高くなっているという結果であった。また利用したことがないと回答した割合が多かったのは女性の 10 代・20 代、70 代で 4 割という集計結果となった。

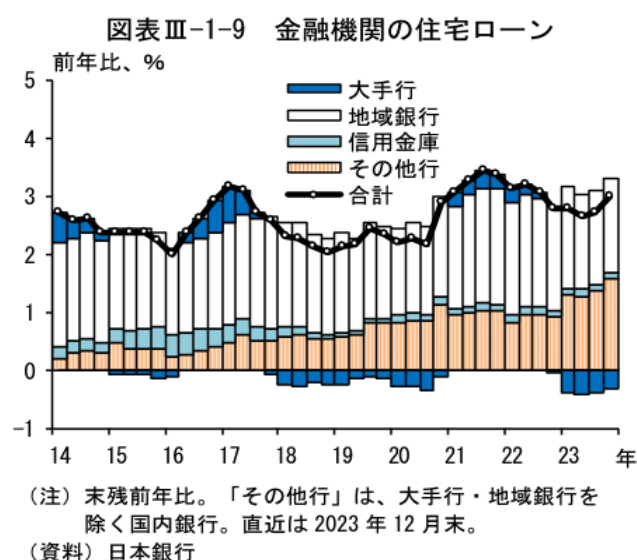
4. 両者を合わせた住宅ローンの比較

国内銀行の個人向け住宅資金の残高を見えると年々増加していることが分かる。その背景として物件価格の上昇により一軒当たりの借入額が大口化していることがあげられる。そのため大手を除く各金融機関は貸出金が多い住宅ローンでの利益を目指す傾向にある。



近年の金融機関における住宅ローンの割合では、地方銀行は横ばいなのに対しネット銀行は年々割合を増加させてきている。ネット銀行が割合を増加させてきている背景として大幅な金利優遇策を取っているということがあげられる。

例として十六銀行の住宅ローンの金利は「金利選択型・変動」の場合店舗表示金利は年2.625%であり12月2日時点のWEB契約金利は年0.725%となっている。PeyPey銀行の場合基準金利は年2.23%と大差はないが、12月2日現在のキャンペーンで年0.42%となっている。



十六銀行の住宅ローン関係サービスでは、変動金利をベースに借入期間中に変動金利と固定金利を選択できる「金利選択型」と借入全期間固定金利の「長期固定金利型」を用意している。また店舗契約以外にWEB契約を可能としておりWEB契約をした場合店舗契約と比べて金利が少し安いという特徴がある。そして変動金利型か固定金利型かど利他があるか、将来のライフイベントに備えた相談などが行えるローンサービスセンターが日曜日でも相談可能となっている。このことから地方銀行の強みは一人一人の顧客に寄り添うことができることだと考察する。

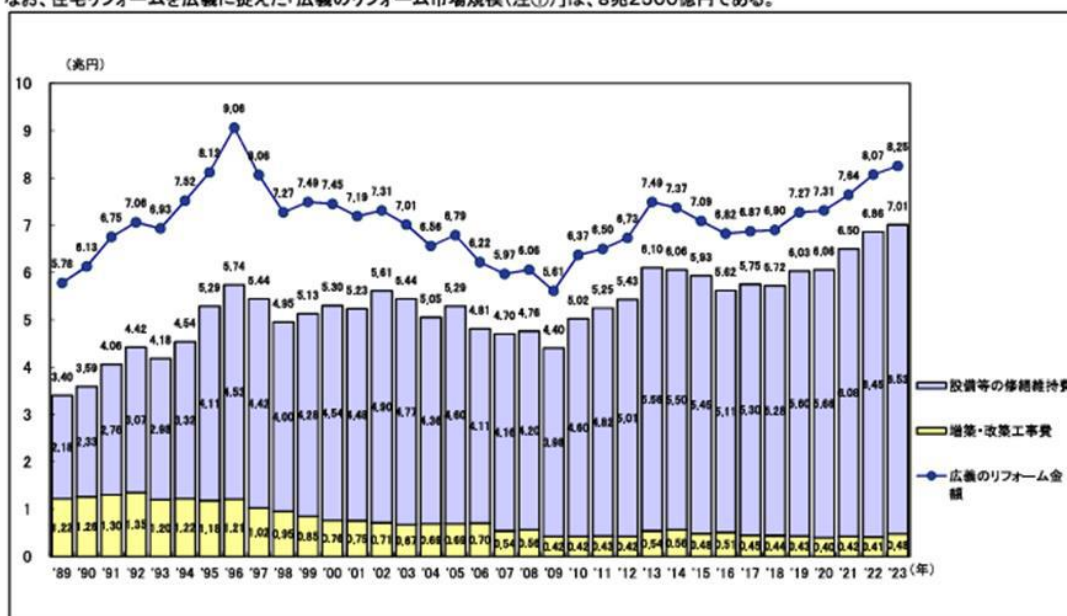
	店舗表示金利	店舗契約金利	WEB契約金利
変動金利	年2.625%	年0.775%	年0.725%
固定金利（10年） （二段階優遇型）	年3.45% (Aコース) 年3.45% (Bコース)	年1.25% (Aコース) 年1.15% (Bコース)	年1.20% (Aコース) 年1.10% (Bコース)
全期間固定金利 借入期間 11年～35年	不明	年2.42%	年2.42%

住宅ローンにおける対策案として、現在の地方銀行では実店舗を持っている関係上、経費面から見てもこれ以上住宅ローンの金利を下げることは不可能であり、新規住宅ローンにおいてネット銀行と真正面から対立するのは現状厳しいと言える。そのため地方銀行では主な顧客層である高齢者世帯に向けた住宅リフォームに関する業務サービスを展開して行く必要があると考察する。

現在の住宅リフォームの市場規模も年々増加している。

住宅リフォームの市場規模

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センターで集計した「住宅リフォーム市場規模(増築・改築工事費及び設備等の修繕維持費の合計)」は、2023年で7兆100億円である。
 なお、住宅リフォームを広義に捉えた「広義のリフォーム市場規模(注①)」は、8兆2500億円である。



注) ①「広義のリフォーム市場規模」とは、住宅着工統計上「新設住宅」に計上される増築・改築工事と、エアコンや家具等のリフォームに関連する耐久消費財、インテリア商品等の購入費を含めた金額をいう。
 ②推計した市場規模には、分譲マンションの大規模修繕等、共用部分のリフォーム、賃貸住宅所有者による賃貸住宅の修繕維持費は含まれていない。
 ③本市場規模は、「建築着工統計調査」(国土交通省)、「家計調査年報」(総務省)、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(総務省)等により、公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センターが推計したものである。

次に住宅リフォームにおいて地方銀行が取り組むべきことは民間企業との提携をすることにより住宅リフォームローンの金利を低く抑えることができ、ローンにかかる審査などを簡易的に行うことができるといったメリットを利用者が受けられると考察する。

そして住宅リフォームを行うのは築年数がたった家などに住む高齢者が多いことからWEB 申請や店舗申請の他に、自分自身の自宅で手続きが済ませられることができる在宅訪問サービスを行うことで顧客満足度の向上が期待できる。

5. まとめ

地方銀行の地元企業への融資の面ではネット銀行にはできない地域のニーズに合ったアプローチにより地元企業の事業をサポートができ、きめ細かいフォローができるというのが強みといえる。

個人向けサービスの面では、全年齢対象向けではなく特定の年齢層を絞り、それに合ったサービスを展開して行く必要がある。またネット銀行にはない対面でのやり取りができるという特徴から新たなサービスへとつなげていくことが今後の運営における重要な点だ

と考察する。

6. 参考文献

<https://www.boj.or.jp/research/brp/fsr/fsr240418.htm>

日本銀行金融システムレポート 2024 年 4 月号（参照 2024-12-02）

<https://www.robotpayment.co.jp/blog/payment/6953/>

Finance&Robotics 今やもう当たり前？ネット銀行決済のメリット・デメリット
（参照 2024-12-02）

<https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/researchfocus/pdf/14667.pdf>

日本総研 大嶋秀雄 地方のリテールバンキング市場の動向と地銀に求められる戦略
（参照 2024-12-02）

https://myel.myvoice.jp/products/detail.php?product_id=30608

My Voice インターネットバイキングの利用に関するアンケート調査（第 25 回）
（参照 2024-12-02）

https://www.zenginkyo.or.jp/fileadmin/res/news/news241238_5.pdf

個人での銀行の利用実態と評価（参照 2024-12-02）

[https://www.paypay-](https://www.paypay-bank.co.jp/mortgage/ad/affiliate.html?r=HLJNZJ0914&c=afbn_zj&a=VC00014)

[bank.co.jp/mortgage/ad/affiliate.html?r=HLJNZJ0914&c=afbn_zj&a=VC00014](https://www.paypay-bank.co.jp/mortgage/ad/affiliate.html?r=HLJNZJ0914&c=afbn_zj&a=VC00014)

Pay Pay 銀行住宅ローン（参照 2024-12-02）

<https://www.juroku.co.jp/loan/myhome/>

十六銀行住宅ローン（参照 2024-12-02）

[https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=\\$nme_a000&lstSelection=LA01](https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=$nme_a000&lstSelection=LA01)

日本銀行時系列統計データ検索サイト国内銀行の個人向け住宅資金の残高
（参照 2024-12-02）

<https://www.zenginkyo.or.jp/stats/year2-02/>

一般社団法人全国銀行協会各種統計資料（参照 2024-12-02）

<https://www.chord.or.jp/documents/tokei/index.html#num2>

公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター住宅リフォームの市場規模
（参照 2024-12-02）

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/344180.pdf>

岐阜県ホームページ第 1 部岐阜県の現状 45、47 ページ（参照 2024-12-05）